



## トカゲハゼ (スズキ目ハゼ科) *Scartelaos histophorus*

産卵は、雌雄1つがいで行われ、雄によるジャンプなどの一連の求愛行動が観察される。主に雄が卵を孵化するまで守るが、この期間には、空気を口に含んでから巣穴に戻るエアレーション行動が観察される。トカゲハゼは、干潟表面の珪藻を食べる。同じ場所に生息するヤマトオサガニも、同じく珪藻を食べるので、トカゲハゼが激しく攻撃して追い払う行動もみられることもある。上の写真(右側)のジャンプしている奥の方には、カニが餌をとっており、お互いに距離を保っているようにも見える。同じハゼの仲間でも、トビハゼは肉食性なので、トカゲハゼとは競合しない。

今の時期(4月)には、メスが近くにいないでも、歯を食いしばってジャンプし続ける個体が多く観察される。必死なオスの姿に感銘を受けた。すでにカップルとなっている場合は、ほとんどジャンプはしなくなるようである。